

『平成18年度施策実施状況調書』

<p>施策名</p>	<p>(施策57) 情報通信分野における重点領域の研究開発の推進</p>			<p>担当部局名 情報通信政策局 技術政策課、研究推進室、通信規格課、宇宙通信政策課(宇宙通信調査室含む)、情報流通振興課、総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課、消費者行政課、電気通信技術システム課</p>			
<p>施策の概要</p>	<p>政策的に重要な以下の3つの分野に係わる研究開発領域を設定して、民間企業、大学、その他の研究機関等に委託して研究開発を推進している。 ①国際的な技術力、技術水準から見て、我が国が強い技術力を持つ、高い技術水準にあるなど比較的優位にあり、産業競争力の強化につながると考えられる領域 ②現在、市場は明確ではなくとも、将来、新たな市場を創出する、またはブレークスルーをもたらす可能性のある萌芽的・基礎的な領域 ③国の安全に関わるような領域、経済的・社会的に見てその基盤となるようなインパクトの大きい領域</p> <p>また、当該施策の進捗管理を行う指標として、上位政策と同様、指標「専門家による評価において成果ありと評価される割合」を設定するとともに、専門家による評価をタイムリーに実施するため、外部評価会の開催回数についても本施策の指標として導入している。</p>						
<p>主な指標の状況</p>	<p>主な指標等</p>		<p>目標値</p>	<p>目標年度</p>	<p>15年度</p>	<p>16年度</p>	<p>17年度</p>
	<p>専門家による評価において成果ありと評価される割合</p>		<p>80%</p>	<p>17年度</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>
	<p>外部評価会の実施回数</p>		<p>2回以上</p>	<p>17年度</p>	<p>2回</p>	<p>2回</p>	<p>2回</p>
<p>施策の主な実施手段の状況</p>	<p>予算執行を主とするもの</p>	<p>事業名</p>	<p>概要</p>		<p>15年度</p>	<p>16年度</p>	<p>17年度</p>
		<p>ユビキタスネットワーク(何でもどこでもネットワーク)技術の研究開発</p>	<p>ネットワークがすみずみまで行き渡った社会(ユビキタスネットワーク社会)を目指し、全ての機器が端末化する普遍的なネットワークを構築する技術の総合的な研究開発を実施。</p>		<p>2,498百万円</p>	<p>3,105百万円</p>	<p>2,608百万円</p>
		<p>ネットワーク・ヒューマン・インターフェースの総合的な研究開発</p>	<p>利用者が複雑な操作やストレスを感じることなく、誰もが安心して安全に情報通信を利用できる環境を実現するため、ネットワーク・ヒューマン・インターフェース(人が情報通信ネットワークをより使い易くするための技術)の実現を図る研究開発を実施。</p>		<p>530百万円</p>	<p>730百万円</p>	<p>476百万円</p>
		<p>準天頂衛星システムの研究開発</p>	<p>常に1つの衛星が日本の天頂付近に滞留し、ビル陰などに影響されない高精度衛星測位サービスの提供を可能とする準天頂衛星システムの実現に必要な技術の研究開発を実施。</p>		<p>799百万円</p>	<p>1570百万円</p>	<p>1,100百万円</p>
		<p>次世代バックボーンに関する研究開発</p>	<p>インターネット基幹通信網(バックボーン)における通信量(トラフィック)の急増やトラフィック交換の東京一極集中等に対応し、社会経済活動のインフラとなりつつあるインターネットの高信頼化、高品質化を実現に必要な研究開発を実施。</p>		<p>—</p>	<p>—</p>	<p>2,000百万円</p>
<p>制度の企画・運用を主とするもの</p>	<p>項目</p>	<p>概要</p>					
<p>—</p>		<p>—</p>					

『平成18年度施策実施状況調書』

施策の主な実施手段の状況 (続き)	項目	概要			
	情報提供等を主とするもの、その他	情報通信白書の作成	平成17年度に研究開発が進められている施策について国民に分かりやすくPRするために平成17年度情報通信白書にイラストを活用して概要を掲載した。		
		ホームページの運用	総務省で行われている研究開発・標準化の概要を国民に分かりやすくPRするためにポータルサイトを作成した。		
		研究成果発表の実施	研究成果を広く社会に普及するため、各種広報活動や実証実験などを実施した。 ・ユビキタスネットワークシンポジウム2005(UNS2005) など ・電子タグを活用した児童見守り実証実験(愛・see・こども110番) など		
(業務改善への取組状況)	(業務改善への取組状況)				
	○研究開発の委託契約に係わる事務の効率化等を図るため、契約マニュアル等の整備を進めるワーキングを開催している。 ○「国の研究開発評価に関する大綱的指針」の改定(平成17年3月、総合科学技術会議)および「ユビキタスネット社会に向けた研究開発の在り方について」の策定(平成17年7月、情報通信審議会答申)を踏まえ、研究開発の適切な評価を図るため、「総務省情報通信研究評価実施指針」の改定(平成18年4月を予定)に向けた所用の手続きを行っている。あわせて、評価指標等の見直しを行うための検討を適宜行っている。				
本施策に関する課題等の状況	○ 新たな研究開発課題に対する積極的・柔軟な対応				
	技術変化が激しい情報通信分野における新たな研究開発課題に対し、我が国の産業競争力を強化させ、ユビキタスネットワーク社会に資するよう、重点的研究資金制度の活用を図り、積極的かつ柔軟に取り組む必要がある。	(予)	制	事	
	○ 外部評価の活用				
	今後限られたリソースの中で最大限の政策効果を上げるためには、効率性や有効性の改善が可能な研究開発事業については引き続き研究計画を変更するなど、一層の重点化や取組の改善が重要である。 研究計画の重点化・改善を図るためには、普段からの進捗管理を充実させるとともに、専門家による外部評価が有効であり、そのために必要な体制を整備し、一層の活用を図る必要がある。	(予)	(制)	事	
	○ 効率的・効果的に研究開発を推進するための体制整備				
ユビキタスネット社会に向けた研究開発の着実な実施と研究成果の利活用を確保し、我が国発の技術の国際標準化を推進し、また、地域における産学官連携を促進するなど、情報通信分野の研究開発に係る総合的な企画立案機能を強化し、効率的・効果的に研究開発を推進するための体制整備が必要である。	(予)	制	(事)		
○ 技術移転等研究開発成果の普及促進					
重点領域における研究開発の推進が平成15年度より開始され、3年が経過した。平成17年度には、17件のプロジェクト型研究開発事業が、総額約87億円の予算により実施され、論文数201件、特許申請数が国内外を合わせて155件に上るなど、着実な成果が見られる。 今後、研究開発の成果が、国際競争力の維持・強化やユビキタスネットワーク社会の実現に活かされるよう、研究成果の普及を一層図る必要がある。	(予)	制	(事)		
本施策に関する専門家の意見等	(実績評価書の取りまとめに活用)				
	○ 情報通信技術の研究開発の評価に関する会合 上記会合及びその下に設けられた評価検討会において、本省で実施する提案公募型の委託研究の個々の研究開発事業の継続評価(平成18年3月)等を行っており、その結果を参考とした。				
本施策に関する専門家の意見等	○ 準天頂衛星システムの研究開発の評価に関する会合 上記会合において、「準天頂衛星システムの研究開発」に係わる継続評価等の評価を実施しており、その結果を参考とした。なお、「準天頂衛星システム開発・利用推進協議会」を頻繁に開催し、関係各省・機関の分担についての調整等、省庁間で重複のない効率的かつ計画的な実施体制を確保すべく検討を進めている。 ※総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省等の行政機関の他、社団法人・日本経済団体連合会も参加している。				

『平成18年度施策実施状況調書』

本施策に関する 主な資料	<ul style="list-style-type: none">○ 平成17年度 情報通信白書 http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/cover/index.htm○ 情報通信技術の研究開発の評価に関する会合における外部評価結果により作成した資料○ 準天頂衛星システムの研究開発の評価に関する会合における外部評価結果により作成した資料○ 情報通信分野における重点領域の研究開発の推進に関するポータルサイト http://www.soumu.go.jp/menu_02/ictseisaku/ictR-D/inde
-----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------